



## 1. マーケット・レート

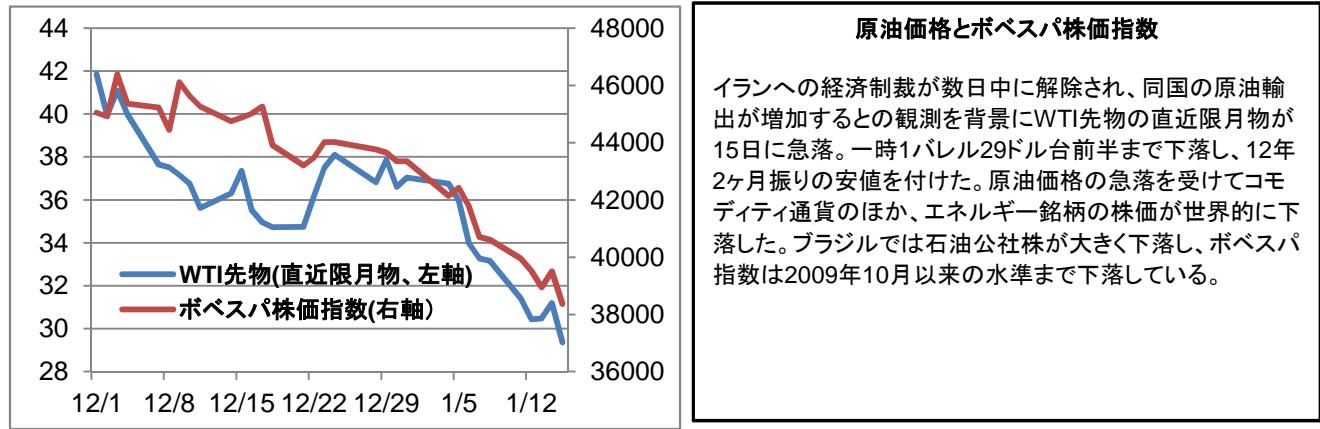
			1月11日	1月12日	1月13日	1月14日	1月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.0530	4.0270	4.0160	4.0000	4.0490	+0.0490
	BRL/JPY	Spot	28.98	29.21	29.32	29.53	28.91	-0.62
	EUR/USD	Spot	1.0874	1.0856	1.0877	1.0864	1.0911	+0.0047
	USD/JPY	Spot	117.49	117.60	117.78	118.14	117.04	-1.10
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	15.18	15.11	15.10	15.08	15.15	+0.0616
	Future	1Year(p.a.)	15.65	15.56	15.54	15.51	15.60	+0.0959
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.622	3.650	3.583	3.753	3.738	-0.015
	USD	1Year(p.a.)	4.282	4.296	4.232	4.387	4.425	+0.038
株式	Bovespa指數		39.950.49	39.513.83	38.944.44	39.426.90	38.569.13	-857.77
CDS	CDS Brazil 5y		492.31	487.92	492.07	489.06	497.24	+8.18
商品	CRB指數		164.237	162.075	162.391	163.122	159.935	-3.188

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週は中国情勢と原油価格が焦点となり、世界中でリスクオフの動きが見られた。中国経済の低迷懸念からコモディティ通貨や株式市場を中心としたリスク資産が大きく売られた。レアルも週初めは4.00台を下回る水準で取引されたが、レアルの弱さはかなり相場に織り込まれていたと見られ、下値は限定的となった。週末にかけて原油市場でWTI先物が2003年11月以来の安値を付けると、コモディティ通貨にとって更なる重石となり、レアルも週間安値圏まで売られた。
- 週初のレアルは4.0250で寄り付いた後、中国経済に対する懸念を背景にリスク資産の売りの動きにつられて週間安値となる4.0660を付けた。その後、中国人民銀行がオフショア市場で繰り返し元買い介入を実施し、人民元相場を安定させたことを受けてレアルはやや小緩んだ。週央には中国の12月の鉄鋼石輸入が過去最高レベルに達したことが好感され、レアルは週間高値となる3.9710まで買い戻された。しかし、原油価格の下落を受けてレアルを含むコモディティ通貨は週末にかけて再び売られ、結局4.0490での越週となった。
- 伯中銀のアナリスト予想集計では2016年末の経済成長率予想が-2.95%から-2.99%に下方修正されたほか、2016年末の予想為替レートは4.21から4.25へ、レアル安方向に修正された。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.95–4.15

来週は引き続き中国の景気動向や原油価格がレアル相場で重要視されるだろう。中国では12月鉱工業生産や第4四半期GDPの発表を控えており、内容次第でレアルやその他のコモディティ通貨に大きな影響を与えるだろう。その他、伯国内では伯金融政策委員会(COPOM)の開催が予定されており、市場の参加者の大半は0.50%の利上げを予想している。今後のシナリオとして、あと2回に分けて0.25%ずつの利上げが行われ、15.25%で一旦利上げサイクルが終わると市場参加者の多くが予測している。COPOMでの今後の利上げスタンスに関するコメントに注目が集まっている。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	0.56%	0.69%	0.81%
ブラジル	経済活動(前月比)	-0.90%	-0.52%	-0.55%
ブラジル	経済活動(前年比)	-6.75%	-6.14%	-6.32%
ブラジル	全国失業率	9.0%	9.0%	8.9%
ブラジル	CNI設備稼働率(季調済)	--	77.0%	77.4%
米	ミシガン大学消費者マインド	92.9	93.3	92.6
米	小売売上高速報(前月比)	-0.1%	-0.1%	0.4%
米	鉱工業生産(前月比)	-0.2%	-0.4%	-0.9%

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/18	FGV CPI IPC-S	jan/17	1.07%	0.99%
ブラジル	1/18	貿易収支(週次)	jan/17	--	-\$150m
ブラジル	1/19	FIPE CPI-週次	jan/15	--	0.88%
ブラジル	1/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	jan	0.67%	0.50%
ブラジル	1/20	SELICレート	jan/20	14.75%	14.25%
ブラジル	1/20	CNI Consumer Confidence	jan	--	96.3
ブラジル	1/20	Federal Debt Total	dec	--	2717b
米	1/20	MBA住宅ローン申請指數	jan/15	--	21.3%
米	1/20	住宅着工件数	dec	1200k	1173k
米	1/20	消費者物価指数(前年比)	dec	0.8%	0.5%
米	1/21	新規失業保険申請件数	jan/16	280k	284k
ブラジル	1/22	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	jan	10.74%	10.71%
ブラジル	1/22	登録雇用創出合計	dec	-650000	-130629
米	1/22	マーカット米国製造業PMI(速報)	jan	51.5	51.2
米	1/22	中古住宅販売件数	dec	5.20m	4.76m

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引、その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。